

平成 29 年 12 月 5 日発行

第 57 号

茨城県県央農林事務所

笠間地域農業改良普及センター

TEL (0296) 72-0701・FAX (0296) 72-2718

笠間農業改良普及事業推進協議会

笠間市・城里町

J A 常陸・J A 水戸

普及だより



新規就農者のための農業講座・
先進地視察研修を開催しました。

七月一四日に就農支援協議会と合同で、新規就農者のための農業講座第三回を開催し、新規就農者など二四名が参加しました。

最初に J A 稲敷江戸崎南瓜部会で江戸崎かぼちゃのブランド力向上と担い手育成の取り組みについて説明を聞きました。その後、カボチャの栽培ほ場を視察し、新規参入でカボチャ栽培に取り組む研修生と交流しました。

次に、石岡市のやさと菜苑株式会社へ移動し、市内で取り組んでいる新規就農者の育成支援と、反収向上を図るネギの生産体系について、説明を受けました。その後、ネギのほ場や薬物のハウスを視察しました。

この講座を通して、地理的表示保護制度（GI）や、後継者育成の現状について、理解することができたという声を受講者から多く聞くことができました。

笠間地域就農支援協議会としてもさらに連携を強化し、新規就農者支援に取り組んでいきます。

ななかいの里 稲刈り体験を開催



九月三〇日、一〇月八日の二日間、城里町徳蔵の水田と野外レジャー施設「山びこの郷」において、ななかいの里生産研究会による「稲刈り体験」が開催されました。

この稲刈り体験には、都内の消費者家族や水戸ホーリーホックスクール関係家族、関係機関等を含めた延べ約一二〇人が参加し、稲刈りと農家ランチで収穫の秋を満喫する一日となりました。

当日は好天のもと、五月に行った「田植え体験」で手植えた稲を参加者たちが手刈りし、稲穂をオダ掛けにしました。稲刈り後はななかいの里コシヒカリの新米をかまどで炊き上げ、生産研究部会の女性陣が持ち

寄った惣菜をおかず、自分たちでおにぎりにしたり、卵かけごはんにして食べました。

城里町ではこれからも生産者と消費者との交流活動を企画していく予定です。

中央アグリクラブが 笠間浪漫に出店しました

笠間市・城里町の若手農業者グループ「中央アグリクラブ」は、一〇月七日、八日に笠間芸術の森公園で開催された秋の地元イベント「笠間浪漫」に出店しました。当日は、クラブ員が丹精込めて育てた豚と米を使った豚井と農産物の販売を行いました。

二日間で多くのお客様が訪れ、笠間産の農産物のPRおよび消費拡大に貢献しました。クラブ



員にとっても、消費者と直接交流する良い機会となりました。

栗新規栽培者講座(第一回) を開催しました



九月一〇日、第一回栗新規栽培者講座を開催しました。

当日は、笠間市内在住でこれから栗栽培に挑戦する方や、栗の栽培技術の基本を学びたい方一四名が参加しました。

今回の講座では、クリ栽培の基礎や選別の実習、選果場見学を行いました。

今年度は特に、目的意識を持って受講している方が多く、クリの栽培技術の習得に対して意欲が感じられました。

今後は、剪定の講座を中心に、残り三回の開催を予定しています。

笠間市の動き

第十一回 かさま新栗まつり

今年で十一回目となるかさま新栗まつりを、九月三十日と一〇月一日に開催し、約四万七千人の方々にご来場いただきました。今回は「笠間の栗のモンブラン」と題し、各店舗の特色を詰め込んだモンブランを集めたり、巨大モンブランづくり挑戦したりと、初の特別企画を実施しました。これからも、笠間の栗のおいしさ、品質の良さを多くの方に知ってもらい、ご賞味いただけるよう情報発信をしていきます。

〔記…笠間市農政課〕



水稲低「スト技術」密苗

「密苗」は高密度播種育苗の略で、水稲の規模拡大に伴い本来であれば育苗ハウス増設が必要とされる農家が一箱当りの播種量を増やすことで、育苗資材費のコストを抑える技術です。

○密苗の目標

- ・播種量…一箱当り乾粒二五〇～三〇〇g
- ・育苗日数…一五日～二〇日
- ・苗丈…一〇～一五cm
- ・植付箱数…一〇a当り五～八箱

○導入

本技術を導入するには、高密度播種に対応可能な播種機と田植機を用意する必要があります。田植機については一部の機種で植付部キットを交換すれば対応可能なものもあります。詳しくは機械メーカーにご相談下さい。

○注意点

育苗日数を長くすると、苗の生育が停滞します。

○笠間管内の取り組み

笠間市の大規模稲作農家Iさんは、所有する播種機の播種量を最大限に増やし（一箱当り二二五g）、田植機の植付部を密苗用に交換し、今年から全面積を密苗に切り替えました。導入の結果、一〇a当り使用箱数を一〇箱程度で済ませることができ、コストを三割削減することができました。また、田植えは昨年より半月早く六月一日に終了することができ、その後の生育も順調で、例年とそんな色ない収穫量を確保しています。

県育成コギクの紹介

茨城県のコギクは、県内の切花品目では栽培面積第一位（全国で二位）を占める重要な花き品目のひとつです。

県では、仏花需要に対応した各需要期前後に出荷できる県オリジナルの「常陸シリーズ」を育成しており、今年新たに二品種が追加販売されました。

「常陸オータムゆうひ」

花色が濃い赤紫色で、開花期は九月上旬から下旬と九月彼岸出荷に適しています。切花長が長く、花蕾数も多いため、ボリューム感があります。

「常陸サマースター」

花色が鮮やかな黄色で、開花期は七月下旬から八月上旬と八月旧盆出荷に適しています。葉色が濃くて艶があり、白さび病の発生が少ないのが特徴です。電照栽培による開花調整が可能です。七月新盆の作型でも利用できます。

今年度の親株購入申し込みは終了しました。品種特性・栽培に関する問い合わせは、普及センターまで。



常陸オータムゆうひ



常陸サマースター

城里町の動き

第五六回茨城県茶業振興共進会審査会を開催

九月二九日に本審査会を開催しました。本共進会は県産茶の品質向上と本県茶業の振興を図ることを目的として、昭和三十一年に第一回が開催され、以降長い年月に渡り、茨城県茶生産者組合連合会、開催市町、及び茨城県との共催により開催されている伝統ある大会です。今年は城里町が開催地となりました。審査会では県内から一八点の優良なお茶が出品され、審査員が外観、水色、香気、味について評価しました。結果は出品茶とともに、十一月一九日にコミュニティセンター（城里（城里町石塚）にて一般公開されました。〔記・城里町農業政策課〕



GAPとは

東京オリンピック・パラリンピック大会組織委員会で食材調達に要件が策定されたことに伴い、GAPについて耳にする機会も増えてきました。

茨城県では、農業を環境的・経済的・社会的に持続性の高い魅力ある産業にするため、GAP【適正な農業の行い（管理）】の実践を推進しています。

GAPでは、①法令を遵守すること②環境汚染や食品汚染、労働災害等が発生しないよう行動することが求められます。さらに③環境を汚染した者は元に戻すための費用を負担することを原則とします。子や孫の代、一〇〇年後にツケを残さないよう行動することが大切です。

GAPの基本は、社会的規範や農業倫理を守ることです。その取組が、農産物の品質の向上と、産地に対する消費者や実需者の信頼を導き出します。

GAPについての詳しい問い合わせは普及センターまで。

オープンラボを活用しませんか

六次産業化オープンラボラトリー（開放実験室）は、茨城県農業総合センター（笠間市安居）の農産加工指導センターにあります。この施設は、加工技術を習得し、地域の農産物を加工した商品を開発するために利用することが出来ます。

施設を利用する場合には事前予約が必要となりますので、普及センターへご相談ください。なお、施設利用料は無料ですが、試作に必要な材料（調味料などを含む）・資材等はすべて利用者に用意していただきます。利用資格・利用方法など詳しくは普及センター又は左記までお問い合わせください。

▼農産加工指導センター
電話〇二九九―四八―二八〇一
ホームページに利用方法等掲載されています。<http://www.pref.ibaraki.jp/nourinsuisan/nosose/cont/kakou/>

県立農業大学校学生後期募集

県立農業大学校では、平成三〇年度の学生を募集しています。

同校は、学生が「自ら考え、学び、自ら実践」することを教育方針とし、農業の担い手の養成並びに農村地域における指導的役割を果たす農業者を育成しています。卒業後は、大学への編入資格も得られます。興味をお持ちの方は、県立農大までお問い合わせください。

学科名 (専攻コース)	募集人員	願書受付期間	試験日	受験資格
農学科 (普通作・露地野菜・果樹)	40	H30.2.5～ H30.2.23	H30.3.2	高校等を卒業した者又は卒業見込みの者
畜産学科	10			
園芸学科 (施設野菜・花き)	30			

お問い合わせ先

茨城県立農業大学校

茨城町長岡 4070-186 TEL 029-292-0010

新規就農を希望する方へ

皆様の周りに、新しく農業を始めた方と思っている方はいませんか。普及センター・笠間市・城里町・各農協では、農業を始めた方をお集めています。「就農相談窓口（別表）」では、就農・研修に対するアドバイスや、各種支援事業（制度資金や人材投資資金（準備型・経営開始型）等）に関する情報提供等を行っています。

農業に興味がある方は、お近くの相談窓口へぜひお越し下さい。私たちは、これからの農業を支える担い手を求めています。

相談窓口

- 笠間地域農業改良普及センター
TEL 〇二九六―七二―〇七〇一
- 笠間市農政課
TEL 〇二九六―七二―一〇〇一
- 笠間市農業委員会
TEL 〇二九九―三二―六六一
- (一財)笠間市農業公社
TEL 〇二九六―七三―六四三九
- 城里町農業政策課
TEL 〇二九―二八八―三一一
- 城里町農業委員会
TEL 〇二九―二八八―三一一
- JA常陸笠間宮農経済センター
TEL 〇二九六―七四―四七〇〇
- JA水戸常北センター
TEL 〇二九―二八八―三三三八
- JA水戸かつらセンター
TEL 〇二九―二八九―二七七二